

令和七年度 福岡県立苅田工業高等学校

同窓会『第六十回工友会記念事業』支援協賛広告のお願い

謹啓 時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より同窓会である「工友会」には、ひとかたならぬ御厚情賜り、厚くお礼申し上げます。

我が母校、福岡県立苅田工業高等学校は、県下では最後の工業高校として昭和三十七年十一月一日に設立委員会が設置され昭和三十八年四月、第一期生が入学して以来、六十年の間に高城山の青嵐を受けて、卒業した同窓生は、一一七五一名となり、地元はもとより全国各地で活躍しております。

さて、「工友会」は、本年度六十周年を迎えることとなりました。

これまで、母校の発展と会員相互の親睦を目的として組織され、毎年『定期総会』を開催いたしておりますが、本年度は記念事業といたしまして、校舎やグラウンドから見える時計台を母校へ寄贈しようと、総会実行委員会・記念事業支援委員会・理事会で決定いたしました。

これまでも、工友会総会開催に際しましては、毎年各位より貴重な浄財を募り、母校の教育施設の設備拡充や部活動支援等に充当させていただいております。併せて、本年度は記念事業を成功させたい思いで組織一丸となって活動を行っております。

この度の『記念事業』・『定期総会』は私ども第三十二期生（平成九年卒業）が、令和七年度『第六十回工友会総会』の当番期生として、会員の総力を結集し、「母校」並びに「工友会」の発展に貢献したく、今、懸命に努力をいたしております。

つきましては、出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、このような事情を御賢察賜り「総会誌」に御支援の協賛広告を是非とも掲載していただきますようお願い申し上げます。

尚、未筆となりましたが、皆様にはご自愛の上、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

令和 七年 五月 吉日

福岡県立苅田工業高等学校同窓会 「工友会」

会 長 中谷 和幸（電気 十三期生）

『第六十回工友会定期総会』 三十二期生実行委員会

実行委員長 黒田 健（機械 三十二期生）
副実行委員長 高橋 大輔（機械 三十二期生）
会 計 緒方 潔（電気 三十二期生）

『第六十回工友会記念事業支援委員』

支援委員長 桃坂 克己（電気 十九期生）
副支援委員長 高城 清一（機械 十九期生）